

## 議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 0 回 学校規模学校配置適正化検討委員会
開 催 日 時	平成 2 3 年 7 月 1 4 日 (木) 15 時 00 分～
開 催 場 所	小川文化センターアピオス 小ホール
出 席 者	<p>【出席委員】          水本徳明 中村強 山口良元 中川稔 小林義治          矢口忠衛 小仁所浩 西村浩一 邊見亜津子 鈴木美樹          中島淨</p> <p>【欠席委員】          野村武勝 星野広幸 福田智彦 立原幸子          沼田マサ 飯島利武 竹内昌信</p> <p>【教育委員】          澤畠照子 本田仁子 沼田和美</p> <p>【事務局】          小松修也 海老澤光志 佐々木浩 菅谷清美 吉田江梨子</p>
協 議 案 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察研修等これまでの活動を通じての意見交換</li> <li>・ 小美玉市の基本方針案の検討協議</li> <li>・ その他</li> </ul>
会 議 資 料	別 紙 ( 会議次第、 <input checked="" type="checkbox"/> 他 )
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開    (傍聴者 1 人)

協議の内容

**【協 議】**

**(1) 視察研修等これまでの活動を通じての意見交換**

**委員長** 前回の学校視察(6/21)で感じたことやご意見を伺っていきたい。参加しなかった方にはこちらから情報提供をしていき、ご質問などいただきたい。では、事務局のほうから視察について説明をお願いします。

**事務局** 学校適正化委員 11 名，教育委員 5 名，事務局 4 名，議員 1 名の 21 名で視察を行った。視察先は 2 箇所、1 つ目は新しい取り組みの学校ということで、小中一貫校の水戸市立国田小中学校。2 つ目は常陸大宮市立緒川小学校。緒川小では、学校視察というよりも、常陸大宮市の取り組み状況を説明いただいた。

<以下、「第 9 回学校適正化検討委員会（視察研修）報告」を読み上げながらの説明>

**委員長** この視察は今後検討していくうえでの手がかりになると思う。これについてご意見を伺いたい。出された意見をもとに議論していきたいと思う。

**委員** 国田小中学校を見て、最初はいろいろと大変だったろうが、「人のために役立つ人間を育成する」という教育がなされていることに非常に感心した。緒川小は範囲が広くて、小美玉市と比べると少し状況が違う。スクールバスを利用しているが、保護者や教員に負担があるのではないかと思った。

**委員** 国田小中学校は、同じ校舎の中で小中学生が一緒に学びあい助け合っている良い学校だった。小中が一緒に校舎でできるのは、子どもの人数が少ないからだと思う。メリットはたくさんあるが、小美玉市では、子どもの数が多すぎて現実的には厳しい。ただ、小学校と中学校が併設されていれば、小学校の子どもが中学校に入っていくというのは大きなメリットがある。小美玉市でも統合を考えていく必要があるのではないかと感じた。緒川小は、以前に統合を経験しているので、うまくいったのかなと思う。小美玉市は経験がないので、難しい面があるかもしれない。統合に際して、緒川小学校ほどの距離的な問題は出ないと思うが、いろいろなことを考えると住民の理解を得るのは難しい。

**委員** 国田小中学校は、地域の支えの中で機能している。小中が連携して

いるので、教員の使い勝手が非常によい。子どもたちも自分の学校に対して誇りをもっているようだった。地域の人が小学校の時から子どもたちを育て、小中連携の中で教育していくという、そのよさを感じた。規模を考えなくてはならないが、このような形もありだと思う。緒川小の視察では、メリットだけでなく、スクールバスや体力低下の問題、朝や帰りの時間の制約が大きいなどデメリットもあるのだと感じた。しかし、人数が増えたことで切磋琢磨できるのはよい。統合においては行政主導で動いているという感じを強く受けたが、住民の声をもっと十分に聞いていく必要があると思った。そこに住む住民の方が納得する進め方をしていく必要がある。

**委員** 国田小中学校は、校舎がきれいで、子どもも落ち着いていた。ただ、生徒数が少なかったので、大きな学校での小中一貫という取り組みはどのようなものか質問してみたいと思った。緒川小では、子どもたちの放課後がなくなってしまうと言っていたが、子どもたちにとって放課後がどうして大事なのか疑問に残った。

**委員長** 放課後が大事だということについては、子ども同士の家が遠い分、帰るとばらばらになってしまっていて遊べなくなるからではないか。

**委員** 2箇所まわって思ったことは、今を見る限り、統合してよかったと思う。国田小中学校で、中学校の教員が小学生の学習を見てくれるのは魅力的だった。ただ、小美玉市の学校にあてはめて考えると難しいのかなと思う。

**委員長** 東京の学校に視察に行ったが、美術教師は図工を教えるといったように教科が固定されていたのもったいないと思った。その点、国田小中学校は教科に縛られることなく教科指導を行っている点が良い。ただ、それが可能になる条件というものが必要だと思うので、そのあたりは難しい。

**委員** 小美玉市ではどうしたらよいかという視点で視察をした。国田小中学校では、小中一貫教育がよいのかは分からないが、県内に9年制のような学校がもっとあってもよいのではないかと感じた。というのは、私が小学校に入ったころには、高等科2年（現在の中2）というのがあった。視察に行くと、この頃のことが思い出されたのだが、この頃を考えると小中一貫はめずらしいものではないし、何ら問題はなかった。小中一貫も候補にいれるべきではないかと思う。また、小美玉市ではバス通学を問題視すべきではない。緒川小の子どもたちがもっと遠い所から通っていることを考えると、バス通学がいいか悪いかは別として、小美玉市は恵まれている。それから、緒川小の統合には行政が強行した印象を受けたが、それくらいしないと物事が進まないのかなと感じた。100%同じ考えということ

はあり得ないので。本気になってきちんとした説明をしていけば大丈夫だろうと感じた。

**委員** 小中一貫はいい仕組みの1つだと思う。始めは様々な問題があっても、信念を持って進めていけば良い方向に進むはず。

**委員** みなさんの話を聞いて、国田小中学校の小中一貫教育は魅力的だった。行事についても、保護者の立場から見て、日が重なることで、お弁当の回数も減るし、大人数で盛り上がるのではないかと思った。緒川小では、スクールバスの家庭負担が一切ないそうだが、小美玉市はどうなるのか。自分の子どもが幼稚園の時には1000円負担したので、保護者としては気になった。

**委員** 「小瀬小でも八里小でもなく新しい学校をつくる」という意識が大事だと思った。学校統合ということで話しを進めていくことになった際には、自分の学校がなくなってしまうということにこだわらずに、このような意識を持つことが大切だと思う。もう1つ、9年間で教育していくという形については、小中連携がどの学校においても重要であるので、統廃合に関わらず、大事な考え方だと思う。

**委員** いろいろな角度、立場から住民の声を聞くことが非常に大事だと思う。

**委員** 国田地区は規模的に小中一貫が地域に合っていると思うが、小美玉市にはどうかと思った。統合に関して、規模が小さい学校でも残してほしいという気持ちがあったが、子どもたちのためには切磋琢磨して勉強したほうがよいとも感じた。中学校の総体を考えても、いろいろな部活があって、人数もたくさんいる学校のほうがよい。小美玉市の考えをいれて進めていくべきだと思う。

**委員長** 大事なことは状況に合わせた学校づくり。ただ数を合わせるということではなく、「よりよい教育にしていく」という考えを住民の方に分かっていたきたい。統合で進めていく際には、私たちはそのような中身を作っていく必要がある。「子どもたちのより良い学校づくり」を住民の方が納得するように説明しなければならない。また、小中一貫については、国田小中学校での中学校の教員がTTで参加していることが目立っていたが、それだけではないと思う。カリキュラムや生徒指導上の問題もあるので、小美玉市の小中一貫の考え方が必要である。国田小中学校からも「うちは1クラスだからできる。クラスが多い学校では難しいのではないか。」という言葉をいただいたが、TTがやれるということだけを考えるのではなく、小中一貫でもっとできることがあると思うので、幅広く考えていけばよい。

## (2) 小美玉市の基本方針案の検討協議

<b>委員長</b>	<p>8月いっぱいにはこの委員会としての基本方針を固めたい。そのためにどのような中身にしていくかを考え始めたい。手がかりがいくつかあるが、常陸大宮市の資料を参考にすると、小学校の適正規模として「6学級～16学級」「1学年2～3学級程度」という基準を示している。他の自治体を見ても、「～学級」と示しているものが多い。私たちもそのような方針を作る必要性がある。ただそれだけではなく、そうした規模にする時にどういう学校をつくるのか考えていくことが大切。中学校については「6学級～15学級」というように示されている。</p> <p>また、みなさんにアンケート結果の速報版（別添 会議資料）を配布した。細かな分析はまだできていないが、市民・保護者・教員それぞれの結果を載せている。私としては、単に規模だけの話ではないと思っているので、最初のほうの設問で、「どういう子どもを育てたいか」「どういう能力を身に付けてもらいたいのか」などのような項目を入れた。</p> <p>&lt;別添 会議資料 P9～P11 を見ながら結果の確認&gt;</p>
<b>委員</b>	<p>どのような基本方針にしていくか意見をいただきたい。</p> <p>小学校と中学校に子どもがいる。それぞれに同じアンケートがきて同じものを2つ出したのだが、結果に影響はないのか。</p>
<b>事務局</b>	<p>兄弟関係については把握が困難だったので、重複して届いている可能性がある。ただ、用紙に「中学校のお子さんがある場合には、小学校のほうで回答してください」という注意書きは書いてある。</p>
<b>委員</b>	<p>詳しく結果を提示してくれるのか。大規模校からの意見と小規模校からの意見とは違うと思うので。</p>
<b>委員長</b>	<p>アンケート結果を学校ごとに出そうと思うのだが、どうか。規模ごとにしたほうがよいか。このデータは、規模の問題と中身の問題があると思う。保護者はこう望んでいる、それに対して先生方はこう望んでいる、保護者の方がある意味学校の評価をしている、それを受けてどういう学校をつくっていくかという材料にできればよいと思う。</p>
<b>委員</b>	<p>私は、自分の学校の人たちがどのような考えなのか知りたいという気持ちもあるので、学校ごとに結果をだしていただきたい。</p>
<b>委員長</b>	<p>たしかに学校ごとに出したほうが議論は進めやすい。アンケートの結果がそのまま委員会の方針になるというものではなく、あくまで、ここで議論されたことに基づいて委員会としての考えを出す必要がある。反対の意見が多くても、委員会として違う意見を出すということも出てくるであろうと思う。</p>

	<p>ここでの議論は原則すべて公開だが、学校別にアンケート結果を出してもよいか。</p>
<b>事務局</b>	<p>公開することによってプライバシー等が守られないという場合については、委員さんの話し合いによって、一部非公開にするということはある。ただ、傍聴している方もいらっしゃるの、どこまで非公開にできるかは保証の限りではない。ただ、原則は全て公開。集計は、データを大学の学術研究のために使用するという条件で、無償で水本先生にしてもらっている（名称などは伏せてある）。前回の視察の際にも述べたが、改めてご了承ください。</p> <p>学校ごとに集計をしてみて、公開できるようなものではないと判断される場合には事前に相談をしたいと思うが、この委員会で資料として提示した場合には原則全て公開ということになる。ただ、先ほど水本先生もおっしゃっていたようにアンケートが全てではなく、あくまで参考と捉えればあまり心配いらないのではないかと。</p>
<b>委員</b>	<p>学校ごとに集計したものを公表した際に、委員会は「あくまでみなさんの意見を参考にするためにアンケートを実施したんですよ」と言ったとしても、答えた側は「我々の意見を聞くための委員会ではないのか」という意見が出ないとも限らない。アンケートに答えた方は、そのような考え方だと思う。例えば、「統廃合には絶対反対」という意見が大多数だったが、委員会としては「統合すべき」という結論を出した時には、あとあとまでしこりが残ってしまう気がする。そのようなことを考慮すると、そこまで分析する必要があるのか。学校ごとの結果は出さないほうがよいのではないかと。規模ごとぐらいでいいのではないかと。</p>
<b>委員</b>	<p>先ほど、学校ごとの結果が見たいと述べたが、小美玉市全体のことを考えて思い直した。</p>
<b>委員</b>	<p>学校ごとに結果を出すと、保護者の意見を尊重したとか粗末にしたとかそのような議論になってしまい、この委員会の議論そのものをつまづかせてしまうように思うので、私は、規模ごとにデータを出すのがよいと思う。</p>
<b>委員</b>	<p>小規模校はこのような傾向があるんだな、大規模校はこのような傾向があるんだなということが分かればよいと思うので、規模ごとの集計でよいと思う。</p>
<b>委員長</b>	<p>今出たご意見を参考にし、学校規模ごとにグループ分けをし、そのデータを出します。その他ご意見ありますか。</p>
<b>委員</b>	<p>今後検討していくこととしては、学級数、人数の理想数をだして方向性を出していけばよいのではないかと。</p>
<b>委員長</b>	<p>学級数で考えていくのが一般的である。学級の人数について話しあ</p>

うことは難しいところがあり、それにふれると教員の数にも関わってくる。教員の数が必要になれば、県が負担してくれる人数は決まっているので、それを超える部分については市で負担していくことになる。

示し方としては、全体の児童数などでもいいだろうし、いろいろある。ただ、全児童数で示すと、教員数や学級数などがイメージしづらいかもかもしれない。現在の制度では、1学級の人数が40人を超えなければいかようにも少なくできるとされている。以前は県への相談が必要であったが、今はそれがいらず市の判断でいかようにもできる。

**委員** もう一つは、統合をしていくスピードであるが、行政指導で進めていくのか、それとも住民の意見を尊重して進めていくのか基本方針にある程度盛り込む必要があると思う。

**委員長** この委員会では、8月末くらいまでに基本方針を出して、さらに実施計画まで策定しなければならない。常陸大宮市は、委員会は基本方針のみで、実施計画の部分は教育委員会に委ねていた。しかし、小美玉市の場合は来年度末くらいまでに実施計画までつくることになっている。やることが多く責任が重い、決めたことに関してはぶれないようなしっかりとしたものをつくっていく必要がある。進め方については、基本方針の中に原則のようなものを明記しておいたほうがよいのかもしれない。

今日の話し合いをふまえ、次回、基本方針にのせる項目（中身は書きませんが）をつくってきたいと思う。学校規模、考え方、学級数、進め方などおよその項目をあげたいと思う。その項目の過不足や中身について議論していきたい。その際材料としてアンケート結果を示したい。それに基づいて文案を作成し、その次の委員会までには確定していかなければならない。今後だんだんと形になっていくと不安になってくるかもしれないが、私たちは他よりもたくさんの回数議論を重ねているので、それをふまえて決定していきたい。

**委員** 今後の会議の持ち方について意見を言いたいのだが、アンケートの結果などをじっくりと見る時間がないので、じっくり見て考える時間がほしい。中身のある時間にしながら結論を出していきたい。

**委員長** ここで決まったことはこの先何十年、百何十年の影響を持つことですので、たくさん議論して後悔のないようにしていきたい。

